

富士通株式会社 御中

富士通製プラットフォーム「PRIMERGY」、
ミドルウェア「Interstage Application Server V9.1」、及び
「φ.-Conductor」と Vantage Analyzer 動作検証完了報告書

日本コンピュータ株式会社

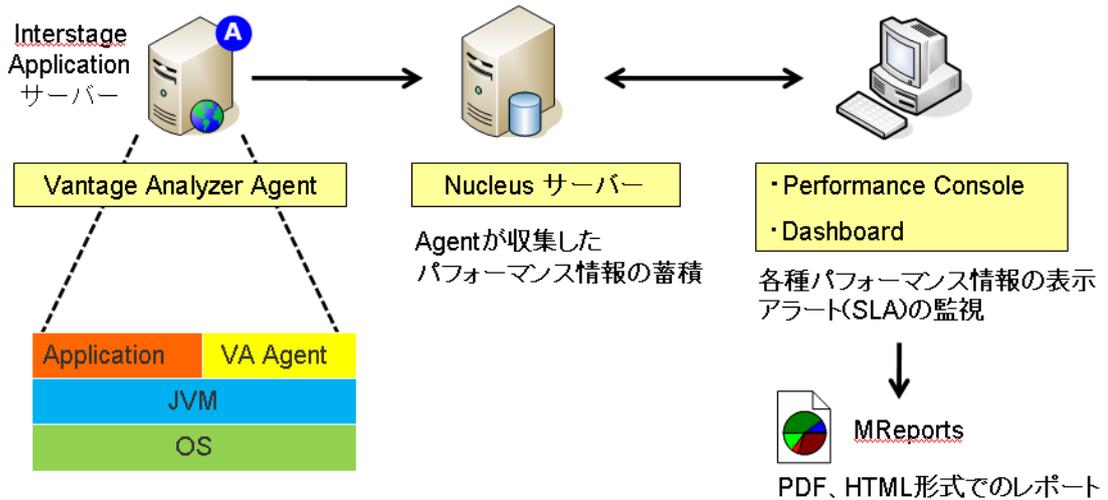
[目次]

1. 目的	-----	2
2. ハードウェアの構成	-----	3
1 ネットワーク	-----	3
2 サーバ	-----	3
3. ソフトウェアの構成	-----	3
4. 動作検証方法	-----	4
1 Agent の起動確認	-----	4
2 業務アプリでの動作確認	-----	4
5. 検証結果	-----	5
1 Agent の起動確認	-----	5
2 業務アプリでの動作確認	-----	5
6. その他	-----	6
7. 見解	-----	6
8. お問い合わせ	-----	6

1. 目的

前回 2006 年 4 月、「PRIMEPOWER、PRIMERGY」、富士通ミドルウェア「Interstage Application Server」、「POWER EGG」と Vantage Analyzer の動作検証に引き続き、バージョンアップしました「Interstage Application Server」、「φ.-Conductor」と Vantage Analyzer のすべての機能が適切に動作し、製品の組合せに問題が無い事を実機で確認する。

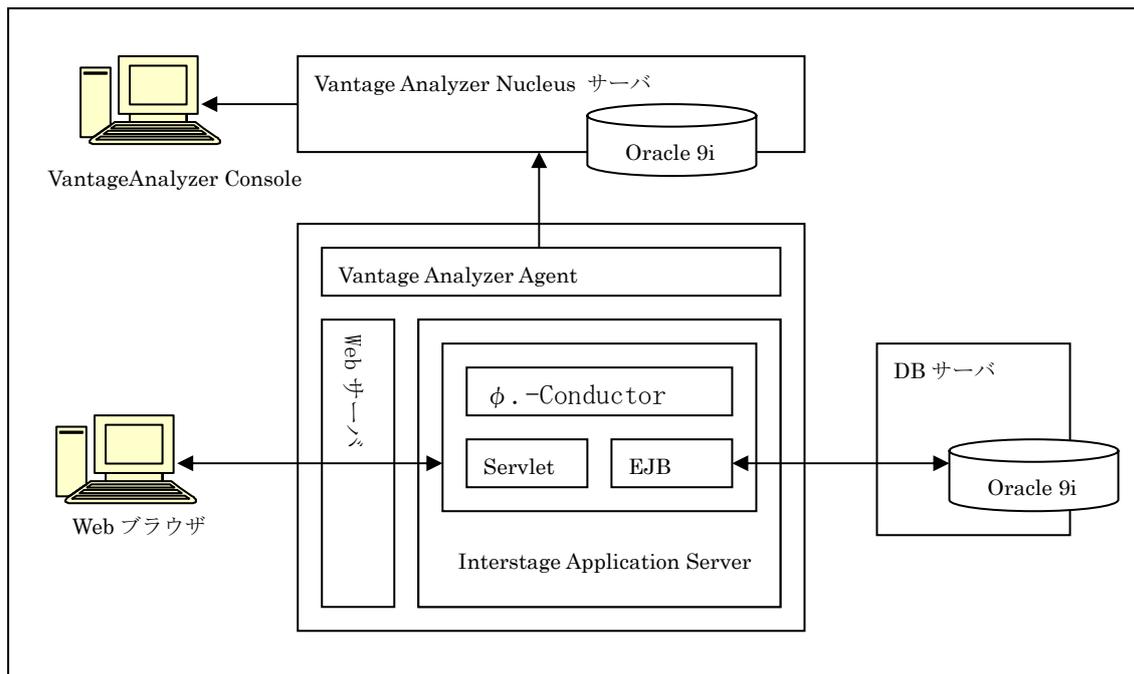
1) Vantage Analyzer の構造



2) Vantage Analyzer の主要機能

- J2EE トランザクション分析機能
- メソッドパフォーマンス分析機能
- SQL ステートメントパフォーマンス分析機能
- オブジェクト分析機能
- SLA 監視機能

2. ハードウェアの構成



サーバ

サーバ名	機種	仕様	OS
DB サーバ	PRIMERGY TX200 S3	CPU: Xeon3.0GHz/4MB ×2 MEM: 2GB HDD: 147GB (RAID5)	Windows Server 2003 R2 SP2 DB: Oracle 9i
Interstage	PRIMERGY TX200 S3	CPU: Xeon3.0GHz/4MB ×2 MEM: 2GB HDD: 147GB (RAID5)	Windows Server 2003 R2 SP2
Vantage Analyzer	PRIMERGY TX200 S3	CPU: Xeon3.0GHz/4MB ×2 MEM: 2GB HDD: 147GB (RAID5)	Windows Server 2003 R2 SP2 DB: Oracle 9i

3. ソフトウェアの構成

サーバ名	機種	OS	ミドルウェア
DB サーバ	PRIMERGY TX200 S3	Windows Server 2003 R2 SP2	Oracle 9i
AP サーバ	PRIMERGY TX200 S3	Windows Server 2003 R2 SP2	Interstage Application Server Enterprise Edition V9.1
業務アプリ	PRIMERGY TX200 S3	Windows Server 2003 R2 SP2	φ.-Conductor
VantageAnalyzer Nucleus Server	PRIMERGY TX200 S3	Windows Server 2003 R2	Vantage Analyzer 10.1J Oracle 9i

4. 動作検証方法

1) Vantage Analyzer Agent の起動確認

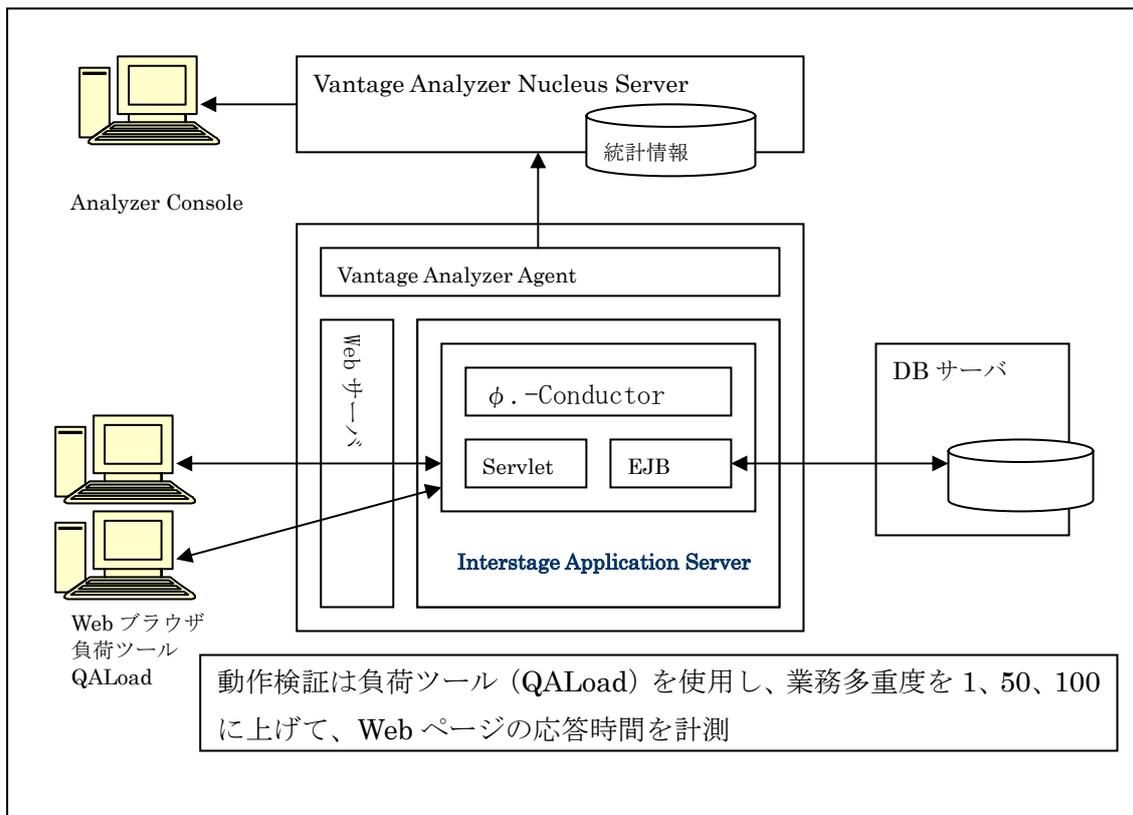
Interstage の立ち上げ時に Vantage Analyzer Agent が起動を確認する。

2) 業務アプリケーション（φ.-Conductor）を使用し、Vantage Analyzer の動作確認

φ.-Conductor 業務アプリを配置(デプロイ)し、Web ブラウザより業務要求する。
負荷ツールの QALoad を使用し、業務多重度を 1、50、100 に上げて、Web ページの
応答時間、業務アプリケーションのメソッド、SQL の性能を計測する。

φ.-Conductor の業務要求は、以下の手順で受注商品の検索を行う。

- ・ ログイン処理
- ・ 引き合い／受注を選択
- ・ 関連モニタを選択
- ・ 受注モニタを選択
- ・ 担当部門を選択
- ・ 顧客名番号を入力
- ・ 受注商品の検索
- ・ 終了



5. 動作検証結果

1) Vantage Analyzer Agent の起動確認

Interstage V9 は、JDK5 の JVM で動作します。また、暗黙の設定値としてパラレル GC の設定が有効になっています。

そのため、Vantage Analyzer Agent を有効にしたとき、Interstage 起動時に以下のエラーメッセージが表示されます。

「Error occurred during initialization of VM JVMPI not supported」

上記のエラーメッセージが表示された場合、Interstage の起動パラメータに以下の値を設定し、パラレル GC を無効にしてシリアル GC で起動してください。

「-XX:-UseParallelGC」

- 2) 業務アプリケーション（φ.-Conductor）を使用し、Vantage Analyzer の動作確認
負荷ツールの QALoad を使用し、業務多重度を 1、50、100 に上げて、Web ページの応答時間と以下の機能チェックリストに基づき動作検証を実施しました。
各機能につきましては、添付資料「(補足資料 1) VantageAnalyzer 機能検証結果報告書」をご参照ください。

Vantage Analyzer の機能チェックリスト		
スコープ	確認項目	合否
全般	サーバ CPU 使用状況が取得出来る事	○
	JVM ヒープ状況が取得出来る事	○
	DB へ情報が蓄積される事	○
J2EE Java Scope	実行中の JSP、Servlet、EJB が確認出来る事	○
Stalled Threads	設定した閾値を越えたトランザクションが表示される事	○
	メソッド、SQL の情報が確認出来る事	○
Transaction Explorer	トランザクション情報が正しく表示される事	○
	メソッド、SQL の情報が確認出来る事	○
Transaction Scope	設定した閾値を越えたトランザクションが表示される事	○
	メソッド、SQL の情報が確認出来る事	○
Method Hotspots	メソッドの情報が確認出来る事	○
SQL Hotspots	SQL の情報が確認出来る事	○
Memory Hotspots	オブジェクト情報が確認出来る事	○

6. その他

検証番号： 2008-0617-02

検証場所： 富士通 浜松町 PSC 29F Validation Room 9

検証日： 2008年 6月 17日 ～ 6月 20日

検証作業： 富士通株式会社 ソフトウェア事業本部 ミドルウェア事業統括部
日本コンピュータ株式会社

7. 見解

Vantage Analyzerは、富士通Interstage において、Interstageの起動設定にシリアルGCへの変更をする設定を行う必要がありますが、全ての機能が適切に正常動作し、情報の取得が可能であることを確認しました。また、Vantage Analyzer導入後もInterstage上で稼働するアプリケーション（φ.-Conductor）が正常に稼働する事を併せて確認致しました。

この結果から、起動時の制限はございますが、上記の組み合わせでのご利用に問題はないと判断します。

8. お問い合わせ先

問い合わせ窓口

日本コンピュータ株式会社

TEL : 03-5473-4560

E-mail : marketingjapan@compuware.com

URL : <http://www.compuware.co.jp/>

----以上----